



中部ブロック



発行人：伴 信太郎
 事務局 〒466-8560 名古屋市昭和区鶴舞町 65
 名古屋大学大学院医学系研究科健康社会医学専攻
 総合診療医学 内
 Tel.052-744-2951 Fax. 052-744-2951
 E-mail:nobuban(at)med.nagoya-u.ac.jp

ニュースレター No.20(2017.12) 本号の編集担当者 吉岡 哲也

【支部情報】

『第6回 JPCA 中部ブロック支部学術集会』日時：2017年11月26日(土)13:00-17:00 場所：名古屋大学医学部 鶴友会館

当日は65名の方にご参加いただきました。一般演題では三重大学 近藤 諭先生、南砺市民病院 高瀬 義祥先生、北西医院 北西史直先生、富山大学 三浦太郎先生より大変興味深いご発表頂きました。教育講演では日本統合医療支援センター 織田 聡先生より『日本統合型医療の理念』と題してご講演いただきました。あやしくない、真の統合医療につき理解が得られました。

シンポジウムでは『プライマリ・ケアにおける統合ヘルスケアの実践』として医師である名古屋大学の伊藤京子先生、鍼灸師である一鍼の児山 俊浩先生、ヨガ療法士である日本ヨガ療法学会の半谷 明美先生、アロマセラピストであるKANON～香音～の安田 由佳先生、臨床心理士である岐阜県総合医療センターの鈴木 美砂子先生より、それぞれ各療法の強みなどをご講演いただき、各療法家がチームとして一同に集まり、ディスカッションすることで適切な統合ヘルスケアを実践していることをご報告いただきました。



●愛知県

【報告】

ACCEL2017 秋 2017年10月22日(土)9:30~12:00 場所 中津川市健康福祉会館

ACCEL (Attractive Conference on Collaborative and Elaborative Learning for Senior Residents) は、名古屋大学総合診療科が主催する家庭医療専門医試験の受験申請に必要なポートフォリオ (PF) の作成を支援するためのミーティングです。年4回開催。

今回は総勢24名の参加者で、千秋病院の専攻医の先生、当院初期研修医、学生にもご参加いただきました。今年専門医試験に合格された丹慶先生より「研修のふりかえり」と「専門医試験対策」をレクチャーしていただき、大変参考になりました。

～次回案内～ 2018年1月13日(土)14:00~18:00 名古屋大学医学部3号館3階会議室

詳細を知りたい方や参加をご希望される方は、名古屋大学総合診療科 HP <https://www.med.nagoya-u.ac.jp/general/accel/> もご参照ください。コアレクチャーの概要も参照いただけます。

すべての家庭医療専門医プログラムの専攻医、指導医のオープン参加を歓迎します。また PC 認定医の受験や更新、家庭医療専門医更新で PF 作成が必要な方も是非ご参加ください。詳細は下記アドレスにお気軽にご連絡ください。

連絡先：名古屋大学医学部附属病院総合診療科(担当：安藤友一)
 E-mail: u1ando(at)med.nagoya-u.ac.jp Tel & Fax: 052-744-2951



●三重県

【報告】

1) 2017年10月26日 質的研究とSCATのセミナー・ワークショップを開催しました！

2017/10/21~22日に大谷尚先生、安藤りか先生を講師にお招きして、「医療における質的研究の Protokol 作成と SCAT の2日間のセミナー・ワークショップ」を開催、11名が参加しました。質的研究とは何か、SCAT の分析について等の講義を聴講したのち、3つのグループに分かれ、1日目は実際に行う研究テーマで Protokol を作成しました。2日目は、深夜の救急外来に受診した患者についての文章を読み、SCAT で分析しました。参加者全員が、充実した学びを得ることができました。



2) 2017年11月2日 第1回訪問薬剤に関する交流会を開催しました。

今回、はじめて病院薬剤師と院外薬局の薬剤師との交流会を県立一志病院で行いました。一志病院の上田薬剤師より「一志モデル」の訪問薬剤指導体制についての活動報告があり、その後一志病院の医師、看護師も参加してグループワークを行いました。日頃の成果や困っていることを共有し、課題も見えてきました。今後、交流会の輪が広がり、在宅療養支援がさらに充実したものになればと思います。

3) 2017年11月1日 後藤道子先生が The 6th Lyn Clearihan Award (2015.2016の年間最優秀論文賞) を受賞されました！！

国際家庭医療学会・アジア大洋州地域におけるリンクリアム賞(学会誌優秀論文賞)の表彰式がありました。アジア太平洋地域の学術誌 Asia Pacific Family Medicine の初代編集長 Lyn Clearihan 教授の名を冠した The 6th Lyn Clearihan Award (2015.2016の年間最優秀論文賞) を後藤道子先生が受賞され、タイのパタヤで行われた国際家庭医療学の学術集会 WONCA 2017 で、授賞式が行われました。



- 4) 2017年9月23日(土) VBPのワークショップ -多職種連FD- 13:00~16:00
 講師:大西弘高先生(東京大学大学院医学系研究科医学教育国際研究センター)
 場所:先端医科学教育研究棟3階 多目的講義室 参加費:200円(お茶代)
- 5) 感染症講義シリーズ(谷崎隆太郎先生)18:30~19:30 家庭医療学/総合診療科 医局
 2017年9月26日(火)第6回「知っておきたいワクチンのハナシ」
 2017年10月31日(火)第7回「抗菌薬を使わずに改善する外来感染症まとめ」
 2017年11月28日(火)第8回「急性腸炎」
- 6) 2017年10月7日(土) 第31回 三重・家庭医療学セミナー 10:00-12:00(予定)
 講師:国立国際医療研究センター 忽那 賢志先生 講演 内容:「抗菌薬を大事に使う」
 場所:先端医科学研究棟3階 多目的講義室 対象者:学部学生、研修医、大学院生、教員、医療者、その他
- 7) 2017年11月28日(火) 第8回感染症講義シリーズ(谷崎隆太郎先生) 18:30-19:30
 「急性腸炎」谷崎隆太郎先生 家庭医療学/総合診療科 医局

【今後の予定】

- 2017年12月21日(木) 第17回プライマリ・ケア塾 18:30-20:00 場所:臨床第二講義室
 筑波大学医学医療系 教授 矢野晴美先生 講演「抗菌薬耐性 AMR への戦略的対応—総合内科診療と多職種連携—」
- 2018年2月3日(土)・4日(日) 日本在宅医学会 第3回地域フォーラム in 三重
 会場:三重県総合文化センター 主催:三重県立一志病院
- 2018年2月10日(土) 第3回 IDT-MIE(多職種協働のチーム医療プログラム)10:00~16:00
 場所:鈴鹿医療科学大学(白子キャンパス) 対象:医・看・歯・薬・福祉・栄養・理学療法学科等に属する学生

●静岡県

【活動報告】

第4回静岡プライマリ・ケアフォーラム

(平成29年度第1回日本プライマリ・ケア連合学会中部ブロック静岡県支部地方会)
 ~クリニカルスキル・アップデート~

日時:平成29年9月23日(土・祝)13:30~17:00 場所:アクティシティ浜松 43会議室
 参加者:36名(医師19名、コ・メディカル11名、初期研修医・学生6名)

内容:13:30-14:30 4題

- (1)結婚を契機に風疹抗体検査を勧め、妊娠前に風疹ワクチン接種へ繋がった事例
 原田高根先生(トータルファミリーケア北西医院)
- (2)めぐえないもやもやを抱えて ~プロフェッショナルリズムの観点から振り返る~
 潘 鎮敬先生(静岡家庭医養成プログラム)
- (3)地方の医師不足解消に向けた医学生への有効な取り組みの提案
 光本 貴一先生(浜松医科大学医学部医学科5年生)
- (4)救急医療におけるリスクマネジメント 牧 信行先生(静岡県立総合病院)

14:40-15:40 講演1 外来で診る感染症治療アップデート 静岡家庭医養成プログラム指導医 城向 賢先生
 15:45-16:45 講演2 緩和ケアの最前線、過去・現在・未来 坂の上ファミリークリニック理事長 小野 宏志先生
 終了後、懇親会を開催しました。



【その他の話題】

第13回 慢性期医療を考える会 日時:平成29年9月8日(金)19:00~ 場所:もくせい会館(静岡市葵区)

一般演題 1. みんなに知ってもらいたい死体検案にならない方法 演者:とやまクリニック院長 外山英志先生

2. 独居・家族の協力が得られず、介護支援が困難であった症例を通して 演者:静岡市ケアネット協会 副会長・曲金ケアサポート 間瀬栄二先生

特別講演 一人暮らしの看取り ~地域で支え合い、ともに築く~ 演者:訪問看護ステーションコスモス 訪問看護認定看護師 平野智子先生

内容:「一人暮らしの看取り」という困難かつ重要なテーマについて、生活困窮者・低所得者が多い山谷地区での実践例を教えてくださいました。困難に直面した際に施設・職種を超えて相談し・支え合う体制が構築されているのが印象的だった。

医療と介護の総合的な確保に向けてのシンポジウム「医療・介護の上手な利用」

日時:平成29年11月23日(祝)13:30~15:30 場所:プラザヴェルデ(沼津市)

基調講演:今、求められる地域包括ケアと健康なまちづくり 演者:浜松医科大学地域家庭医療学講座特任教授 井上真智子先生

パネルディスカッション:地域包括ケアシステムを住民参加でつくる ~地域包括ケアシステムの花が咲く地域づくりの主役は住民~

パネリスト:居場所くるらの家代表 山田いさみ様、掛川市地域医療推進課課長 大竹紗代子様、NPO 法人 f.a.n.地域医療を育む会会長 武田和子様、コーディネーター 浜松医科大学地域医療学講座特任教授 山岡泰治先生

【今後の予定】 地方会

第5回静岡プライマリ・ケアフォーラム (平成29年度第2回日本プライマリ・ケア連合学会中部ブロック静岡県支部地方会)

日時:平成29年2月24日(土)14:00ごろ~17:30ごろ 場所:B-nest(ビネスト)(新静岡駅近く) 講師:栃木医療センター 矢吹拓先生

内容:一般演題(ポートフォリオ):数演題 WS:「多職種で取り組もうポリファーマシー(仮題)」

講演:「当院(栃木医療センター)の病院総合診療とポリファーマシー外来(仮題)」

県支部の皆様へ:近々地方会の御案内を学会に登録されているメールでお送りします。今まで県支部からメールがない先生、以前はあったけど最近メールを見なくなったという先生におかれましては学会事務局並びに北西の方までご連絡をお願いします。

●福井県

【報告】実践×協働 健康のまちづくりアカデミー 第2期開講！

家庭医療専門医のコンピテンシーの1つである地域志向アプローチに通ずる「健康のまちづくり」。まちづくりを行う上で、医学系研究科だけでなく、工学系（環境工学）、教育学系、社会学系の関与は重要です。福井大学では、大学の全学部（工学部、教育学部、国際地域学部、医学部）の教員が「地域づくりコンソーシアム」を結成し、昨年度より、全国の医学部のみならず全学部の学生・専門職による広域多職種連携教育をもとにした通年制のセミナー「健康のまちづくりアカデミー」を開講いたしました。今年度も平成 29 年 10 月 28 日より、県内外から 14 名の学生・専門職が参加し、特別講義やワークショップ、まちなかでの実践を通して、福井県高浜町を舞台に健康のまちづくりを楽しく学んでいます。昨年度第 1 期生や、たかほま地域☆医療サポーターの会の皆さんとの交流も進み、地域をケアする視点の学びを深めていただいています。 <http://www.kenko-machizukuri.net/academy/>



●富山県

【報告】

1) 平成 29 年度 第 3 回 とやまいぴー(とやま多職種連携教育プロジェクト)

日程: 2017 年 9 月 2 日 (土) 会場: 上市町保健福祉総合センター
70 名の多職種学生・実務者・教員の方々にご参加いただき、多職種事例検討では、病院チーム、本人・家族チームに分かれての事例検討、意見交換を行った。

2) 10 月 19 日-27 日

Pauline Pariser 先生 Samir Sinha 先生(トロント大学)来県
とやま総合診療イノベーションセンター国際教育セミナーとして大学等で講演会を開催。
10/20 カナダの家庭医療について／病院における高齢者急性期医療
10/23 地域医療での多職種連携モデル／トロントの老年病プログラム



3) 特別教育講演会 診断推論の進め方 ～現場での診療と指導法～

日程: 2017 年 11 月 18 日(土)10:30-12:00
生坂 政臣 先生(千葉大学大学院医学研究院 診断推論学・総合診療科 教授)
千葉大の生坂先生より即席の推論カンファレンスも展開され、わかりやすい診断についての講義をいただいた。

4 大学合同フォーラム(筑波大学、千葉大学、三重大学、富山大学)

リサーチマインドを持った総合診療医の養成 ～総合診療医の地域医療への貢献～総合診療医はいかに臨床研究を遂行していくのか～
日程: 2017 年 11 月 18 日(土)13:00-16:50
冒頭に富山県厚生部長により「富山県の地域医療と総合診療／家庭医療への期待」と題した講演をいただいた。パネルディスカッション「各大学の総合診療／家庭医療の活動と臨床研究の取り組み」にて各地での活動や運営・研究支援システムについての情報共有を行った。

【予定】

1) 特別講演会 亀田での家庭医療

日程: 2017 年 12 月 8 日(金)会場: 富山大学杉谷キャンパス 講師: 岡田 唯男 先生(亀田ファミリークリニック館山)

2) 2017 年度第 2 回 とやま NANTO-RENKEI 総合診療医養成プログラム ポートフォリオ発表会

日程: 2017 年 12 月 9 日(土)会場: 富山市まちなか総合ケアセンター講師: 岡田 唯男 先生(亀田ファミリークリニック館山)

3) 国際教育セミナー 植村健司先生講演会

日程・演題: 2017 年 12 月 13 日(水)「臨床留学について」、14 日(木)「米国の老年医学と緩和医療」
会場: 富山大学杉谷キャンパス 講師: 植村健司先生(マウントサイナイ病院(New York)老年病・緩和ケア科フェロー)

●岐阜県

【報告】

1) 第 37 回岐阜プライマリ・ケアカンファレンス

日時: 2017 年 9 月 22 日(金)19:00-21:20 会場: グランヴェール岐山
研修医による 2 症例の症例検討会
ミニレクチャー 岐阜大学大学院医学系研究科総合病態内科学助教 池田貴英先生「関節リウマチの診療の進歩」
特別講演 岐阜大学医学部附属病院麻酔科疼痛治療科講師 山口忍先生「研修医に必要な痛みの治療薬の知識」
研修医が主体となってプライマリ・ケアを学ぶ研究会です。今回は研修医 15 名と指導医 30 名が参加



しました。

2) 2018 年度岐阜県総合診療専門研修プログラム合同説明会

日時:2017 年 9 月 9 日(土)15:00~17:00 会場:岐阜大学サテライトキャンパス

新・専門医制度での総合診療専門研修プログラムの岐阜県内 7 プログラム合同の説明会を初めて開催しました。1 プログラムが都合で参加できず 6 プログラムでの説明会となりましたが、参加した研修医は全部で 8 名でした。

3) 第 3 回 Point-of-Care Ultrasound(POCUS)コース際教育セミナー 植村健司先生講演会

日時:2017 年 11 月 11 日(土)13:00~12 日(日)13:00

会場:岐阜大学医学部

POCUS とは、欧米で広まってきている身体診察の延長としての超音波検査法で、評価項目を限定し簡単な手順で行える点が特徴です。初心者でも日常診療にすぐ生かせる超音波スキルの習得を目的とし、救急・集中治療・入院診療など様々な場面で導入されています。岐阜県と岐阜大学医学部附属地域医学医療センターからの助成を得て、岐阜県で初めて開催しました。

東京ベイ・浦安市川医療センター総合内科の山田徹先生がコースディレクターで、医学生 15 名とプライマリ・ケアに関わっている医師 15 名の計 30 名が参加し、エコーモデルとしての 5 名の医学生の協力も得て、2 日間に亘って心・横隔膜・血管・肺・腹部エコーでのポイントを絞った検査法を学べる大変有意義な講習会でした。



【予定】

1) 第 38 回岐阜プライマリ・ケアカンファレンス

日時:2018 年 2 月 16 日(金)19:00~21:20 会場:岐阜グランドホテル

2) Point-of-Care Ultrasound(POCUS)コース

日時:2018 年 9 月 16 日(日)13:00~17 日(祝)13:00 場所:岐阜大学サテライトキャンパス(JR 岐阜駅前)

●東海家庭医療ネットワーク

【報告】

平成 29 年 9 月 16 日土曜日、名駅ファミリアクリニックに於いて、29 回目となるカンファレンスを開催いたしました。

第一部は西岡記念セントラル病院院長、西岡先生による患者コミュニケーションのワークショップ。コミュニケーションの要点は「傾聴と共感」ということで、共感についてレクチャーがあった後、面接ロールプレイを通して技術を磨きあいました。第二部は池田耳鼻咽喉科院長、池田先生をお招きして耳鼻咽喉科診療についてご講演いただきました。豊富な写真、動画を供覧しながら、みみ、はな、のどの診かた、治療、専門医への紹介のポイントを教えてくださいました。嚥下障害患者の評価や気管切開患者の管理も詳細にご講義いただき、大変勉強になりました。遠隔診療もされていて、そこは時間切れで詳細は聞けませんでした。参加者からはもっと聞きたい！とリクエストをいただきました。第三部は懇親会。一番大切なイベントです(笑)。カンファレンスの参加よりも人数が多いという、本筋通りの懇親会はとても盛況で、あれだけにぎやかなのも久しぶりと幹事としては感動いたしました。10 年前より細々と同好の士とともに続けてきた本会も、もう 29 回もカンファレンスをしています。次回は 30 回目。もっともっと盛り上げるぞー！(次回は 2-3 月ごろ、岐阜県で開催を予定しています)

(文責:東海家庭医療ネットワーク代表 田中久也)

●石川県

【報告】

能登地域総合診療強化研究会 平成 29 年度クリニカルラウンド

第 4 回 テーマ『里山海道多発傷病者発生事故』

講師:恵寿総合病院 伊達岡 要先生

日時:平成 29 年 8 月 30 日(水)19:00~20:00 場所:公立宇出津総合病院 2 階会議室 参加者 22 名

第 5 回 テーマ『My SEA 後期高齢者の手術適用に対する倫理的葛藤から合意形成のあり方について学びを得た一例』

講師:公立穴水総合病院 小浦 友行先生 日時:平成 29 年 9 月 27 日(水)19:00~20:00

場所:公立穴水総合病院 2 階会議室 参加者 24 名 内容:症例検討、グループワーク

第 6 回 テーマ『STOP&START』

講師:公立宇出津総合病院 竹田 義克先生 日時:平成 29 年 10 月 25 日(水)19:00~20:00

場所:公立宇出津総合病院 2 階会議室 参加者 24 名 内容:症例検討、グループワーク



<支部運営についての情報>

- 各県の代表窓口は下記の方々です
三重県:竹村洋典、富山県:山城清二、石川県:吉岡哲也、岐阜県:森田浩之、愛知県:伴信太郎、福井県:林寛之、静岡県:北西史直
- プログラム責任者の会中部ブロック代表;大杉泰弘(藤田保健衛生大学総合診療・家庭医療プログラム)
- 中部ブロックの活動に関するご意見等ありましたら下記までご連絡ください。
木村 悦子(中部ブロック支部事務局) e-kimura(at)med.nagoya-u.ac.jp